

第一内科（糖尿病・内分泌・代謝内科）

1. 研修責任者
松岡 孝昭

研修医へのメッセージ

当科では、糖尿病などの代謝疾患や内分泌疾患の診療を通じて、内科医として必要な基本的知識と技術を習得することを目指します。疾患の管理だけでなく、患者さんの生活習慣や社会的背景にも配慮した全人的医療を実践できる医師を育成します。チーム医療の重要性を理解し、多職種との良好な関係を築きながら診療を行う姿勢を身につけていただきます。

2. 一般目標（GIO）

- （1）糖尿病などの代謝疾患や内分泌疾患の基本的な診療能力を習得する
- （2）代謝疾患の予防や代謝内分泌疾患の管理に必要な知識と技術を身につける
- （3）チーム医療における医師の役割を理解し実践する

3. 行動目標（SB0s）

A. 経験すべき診察法・検査・手技

（1）基本的な身体診察法

- ①問診および病歴聴取
 - ・内科初診患者の病歴を適切に聴取し記録する
 - ・疾患に特徴的な症状と経過を把握する
 - ・生活習慣、家族歴を適切に聴取する
- ②身体診察
 - ・バイタルサインの測定
 - ・頭頸部、胸部、腹部の系統的診察
 - ・神経学的所見の診察
 - ・内分泌疾患に特徴的な身体所見の観察

（2）基本的な検査と評価

- ①一般検査の実施と解釈
 - ・尿検査（尿糖、ケトン体、蛋白）
 - ・血液検査、血液凝固検査
 - ・生化学検査（血糖、HbA1c、電解質など）
- ②内分泌・代謝検査
 - ・75g 経口糖負荷試験（OGTT）の実施と評価
 - ・内分泌負荷試験の適応と実施方法の理解
 - ・各種ホルモン基礎値の解釈
- ③画像検査
 - ・胸部 X 線、腹部 CT 下垂体 MRI の基本的読影
 - ・甲状腺エコーの基本的手技と所見の理解
 - ・核医学検査（シンチグラフィ）の適応と解釈

（3）基本的治療手技

- ①糖尿病治療
 - ・血糖自己測定（SMBG）の手技と患者指導
 - ・インスリン注射の手技と指導

- ・経口血糖降下薬の選択と使用法
- ・食事療法、運動療法の基本的指導
- ・低血糖時の対応と指導
- ②内分泌疾患の治療（薬物療法・ホルモン補充療法）
 - ・下垂体疾患
 - ・甲状腺疾患
 - ・副甲状腺疾患
 - ・副腎疾患

（４）医療記録

- ・診療録の SOAP 形式での記載
- ・退院時要約の適切な作成
- ・診療情報提供書の作成

B. 経験すべき症候・病態

（１）頻度の高い症状

全身倦怠感、体重減少・体重増加、口渇、多飲、多尿、浮腫、動悸、発汗異常

（２）緊急を要する症状・病態

- ・糖尿病性ケトアシドーシス
- ・高血糖高浸透圧症候群
- ・低血糖症
- ・甲状腺クリーゼ
- ・副腎クリーゼ

（３）経験が求められる疾患

①糖尿病

- ・１型糖尿病
- ・２型糖尿病
- ・妊娠糖尿病
- ・二次性糖尿病（膵性・肝硬変・薬剤性糖尿病など）
- ・糖尿病合併症（急性・慢性）

②内分泌疾患

- ・甲状腺機能亢進症/低下症
- ・バセドウ病
- ・橋本病
- ・副甲状腺機能亢進症/低下症
- ・副腎機能亢進症（クッシング症候群・褐色細胞腫・原発性アルドステロン症）
- ・副腎機能低下症（アジソン病）
- ・下垂体機能低下症

③代謝性疾患

- ・脂質異常症
- ・高尿酸血症
- ・メタボリック症候群
- ・肥満症

C. チーム医療

- ・糖尿病チーム（看護師、栄養士、薬剤師など）の役割を理解する
- ・多職種カンファレンスに参加し、情報共有と討議を行う
- ・糖尿病教室に参加し、基本的な患者教育を実践する

4. 方略 (LS)

(1) 指導体制

研修医 1 名に対して指導医 1 名、上級医 1 名からなるチームで指導を行う。研修医は入院患者を 5 名程度担当し、習得状況に応じて調整する。担当医として、新規入院患者の問診、身体診察を行い、指導医とともに検査計画を立案する。

(2) カンファレンス

週 1 回の新患カンファレンスでは、新規入院患者のプレゼンテーションを行い、診断・治療方針について検討する。週 1 回の病棟多職種カンファレンスでは、看護師、薬剤師、栄養士などと情報共有を行い、チーム医療を実践する。また、週 1 回の内分泌カンファレンスでは、内分泌疾患の症例検討と最新の知見について学ぶ。

(3) 教育活動

定期的な症例検討会でプレゼンテーションを行い、症例のまとめ方やプレゼンテーションスキルを習得する。また、学会発表や論文作成についても指導を受けることができる。さらに、糖尿病教室での患者指導に参加し、患者教育の実践的なスキルを身につける。

5. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	内分泌カンファレンス チームカンファレンス 甲状腺エコー	チームカンファレンス 教授回診 甲状腺エコー	チームカンファレンス 外来処置 病棟業務	チームカンファレンス 病棟業務	チームカンファレンス 病棟業務
午後	病棟業務 甲状腺穿刺 吸引細胞診 新患検討会	病棟業務 チームカンファレンス 研修医勉強会	病棟業務 チームカンファレンス 多職種カンファレンス	病棟業務 チームカンファレンス 抄読会	病棟業務 チームカンファレンス

※その他、各疾患におけるカンファレンスを随時実施

6. 評価方法 (Ev)

(1) 知識

・教授回診やカンファレンスにおいて、適宜診断学および糖尿病・内分泌疾患について質問を行い、知識の習得状況を確認する

(2) 技能

- ・指導医立会いのもとで各種検査・処置を実施し、習熟度を考慮した上で研修医単独で実施する機会を与え、技能習得状況を評価する
- ・カンファレンスにおいて症例検討などの際に随時質疑応答の時間を設け、研修医の疾患・治療における知識の獲得程度を評価する。

(3) 態度

- ・指導医、上級医、看護師、その他メディカルスタッフからも意見を聴取し、医師として相応しい態度の習得状況を評価する
- ・診療録、病歴要約の適切な記載ができているかを評価する
(診療録には EBM を意識した記載、病歴要約には考察が含まれているかを評価する)

評価は、PG-EPOC を用いて行う。評価者は、診療科長・病棟看護師長などが行う。